

現代日本論概論「現代日本における家族」

第11講 家族の経済学 (2)

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 経済学的な観点から家族と労働を把握する

1 前回課題について

視角

- 4種類の活動の平均的な長さの変化の仕方の違い
- おなじ世帯構成の男女間比較
- 男性、女性それぞれの世帯構成による違い

注目すべき点

- 1次・3次活動と2次活動(仕事・家事)の性別、世帯構成による差
- 仕事・家事時間の男女差
- 子供の年齢と女性の仕事・家事時間
- 高齢層の仕事・家事時間
- 若年独身層の仕事・家事時間の男女差

注意事項

- 世帯構成から具体的な生活の状態を想像できるか?
- 数値が読みにくい場合はグラフにするとよい

2 授業内容

前回授業に引き続き、労働と性別役割分業について説明

3 課題再提出

毎回の「授業時間内課題」を来週試験後に提出

- 授業時間内課題はすべて再提出すること
- 宿題については任意
- 課題について自分で調べた資料などをふくめてもよい

日付順にならべて表紙(今日配布、または <http://tsigeto.info/brdface.pdf> から取得)をつけ、上端を綴じる。

- 「自己評価と感想」を書くこと
- 授業全体についての感想や意見などがある場合は「教員宛メッセージ」に
- 授業最終回(7/18)に返却する。もし来られない場合、「連絡先」に住所など書いておくこと。

各課題について、現在の観点からみて内容を修正したい場合は、緑以外の色ペンで修正する。または、新たにA4判の用紙を用意して修正内容を書き、いっしょに綴じてもよい。